

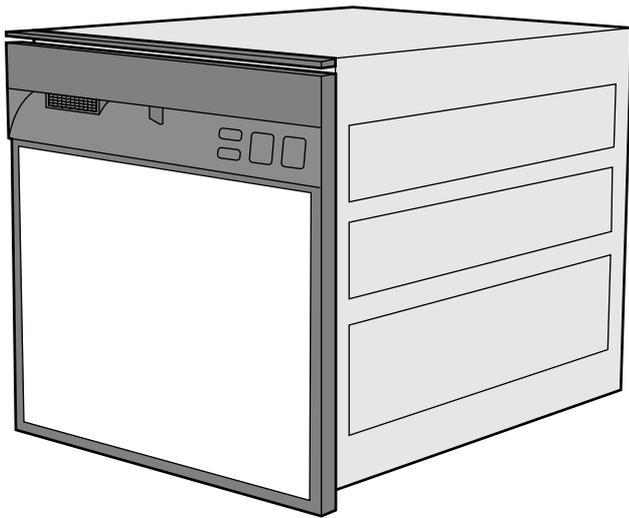
食器洗い乾燥機 45cm幅シリーズ

品番 NP-P45XTS1
NP-P45XTP1
NP-P45X1P1

据付工事説明書

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください	2
各部のなまえと寸法.....	4
設置場所について.....	5
電気工事について.....	6
給・排水工事.....	8
設置工事前の作業.....	10
設置工事手順.....	11
試運転.....	18
試運転後の作業.....	19
工事後の点検(チェックリスト) ... 裏表紙 仕様.....	裏表紙
お客様への取り扱い説明.....	裏表紙



工事をされる方へのお願い

- この製品は、(財)電気安全環境研究所(JET)より『給水装置の構造及び材質の基準(厚生省令)』に適合するとの証明を受けています。このため、給水装置への接合に際し、逆止弁等の設置は必要ありません。なお、JETは、厚生省の「給水装置に係る第三者認証機関の業務等の指針」に示された要件を備えた第三者認証機関のひとつであり、他に(社)日本水道協会等があります。
- 給水装置工事(配管工事)は、各市町村にて施工承認を受けた後、指定工事業者が施工してください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付工事説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 工事終了後 **工事後の点検** のチェックリストに基づいて必ず再確認を行ってください。
- この説明書は工事終了後、お客様へお渡しください。
- 据え付け工事に関して不明な点がございましたら事業部へご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

絶対に分解したり修理・改造しないでください。



分解禁止

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

●修理は販売店へご相談ください。

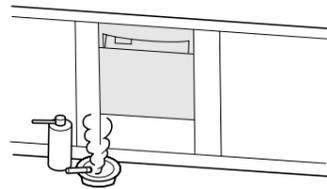


火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近づけないでください。



火気禁止

火災や変形の恐れがあります。

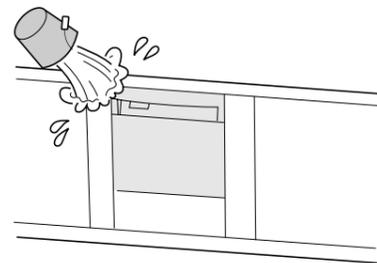


水につけたり、水をかけたりしないでください。



水ぬれ禁止

ショート・感電の恐れがあります。



電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。



火災の原因になります。



警告

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。)

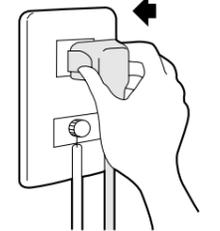


禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。



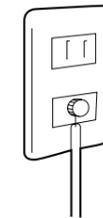
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

アースを確実に取り付けてください。



アース線接続



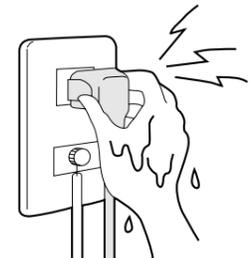
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

●アース工事は必ず販売店に依頼してください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。



ぬれ手禁止



感電の原因になります。

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使ってください。



他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

注意

コンセントの差し込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。



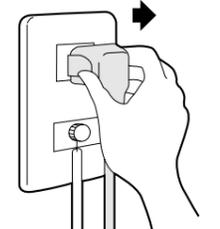
禁止

感電・ショート・発火の原因になります。

●販売店に点検・修理を依頼してください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。

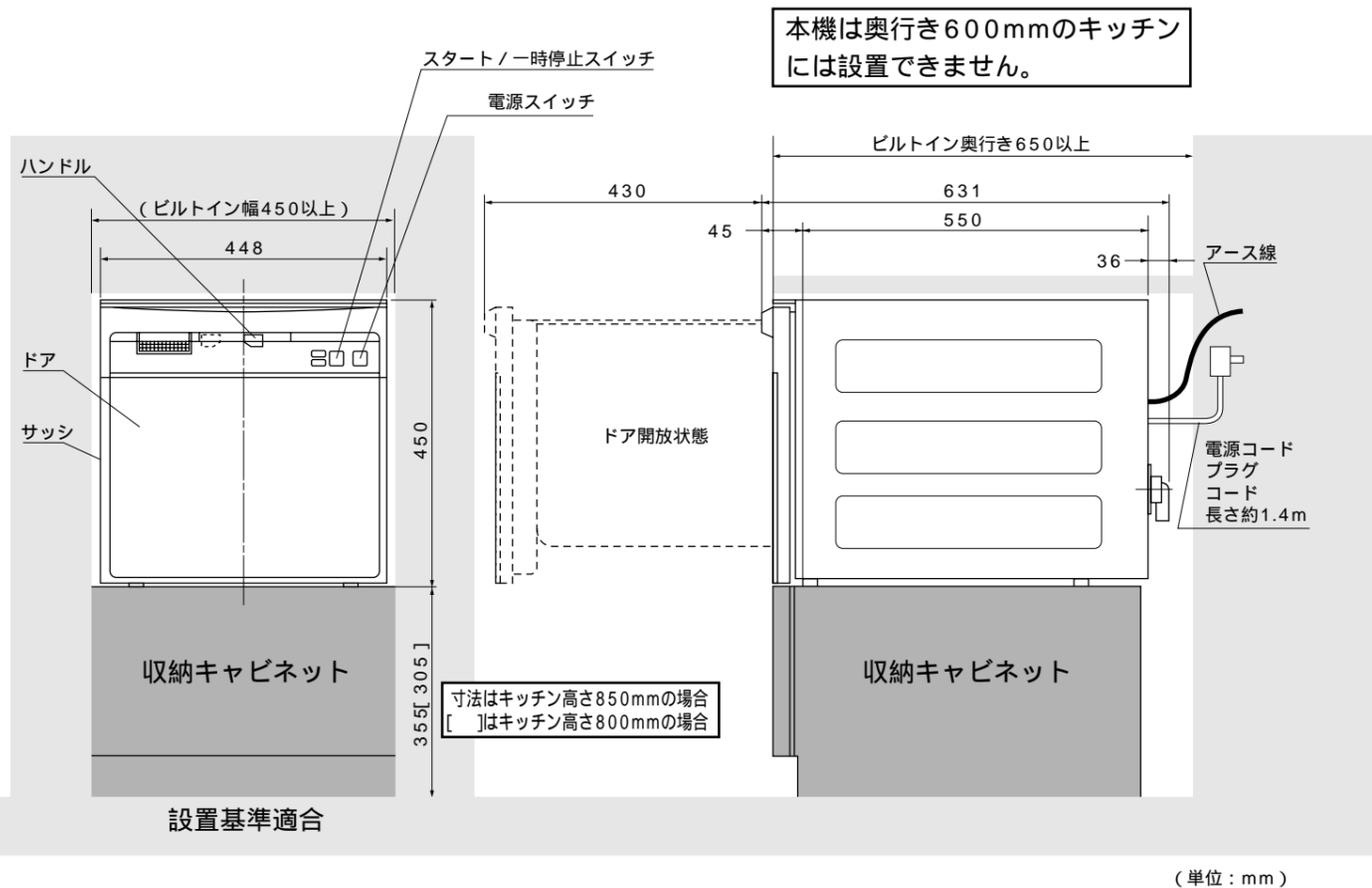


感電やショートして発火することがあります。

各部のなまえと寸法

- 本体およびかごのテープやダンボールなどは全部取り外してください。
- ドア下部裏側のL型の包装用部品も忘れずに取り外してください。

本説明書は下図に示す収納キャビネットが事前に設置されているのを前提にしております。

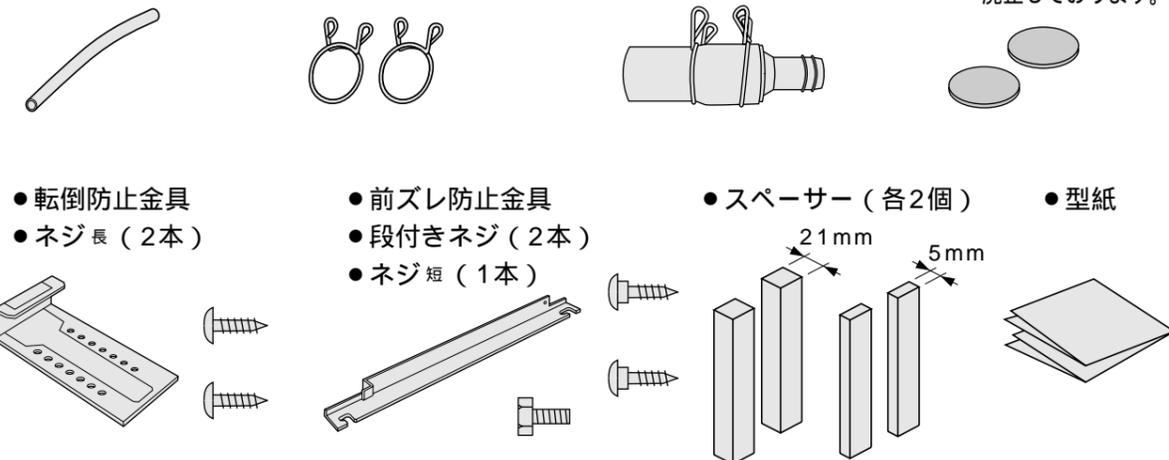


(単位: mm)

付属品の確認

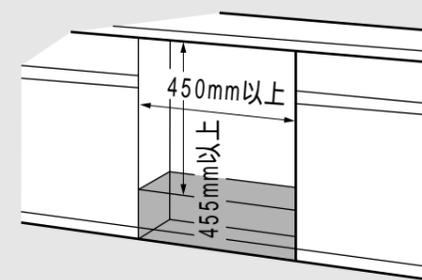
据え付け工事に必要な付属品 工事用

- 排水ホース
 - ホースバンド小 (2本)
 - ホースジョイント
 - ホースバンド大 (2本)
 - すべりシート (2枚)
- 2002年9月生産分より廃止しております。



設置場所について

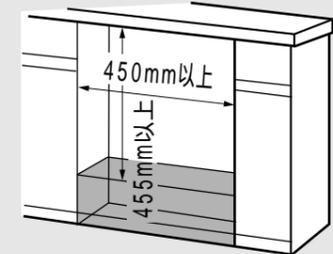
中間にビルトインする場合



片側がフリーの場合

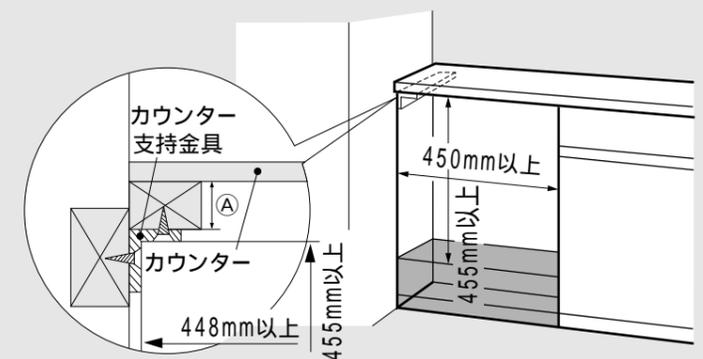
- 片側がフリーの場合、幅150mmキャビネット等を使用して、カウンターを支える処置をします。

150mmキャビネットを使用



片側が壁面または、トールユニットの場合

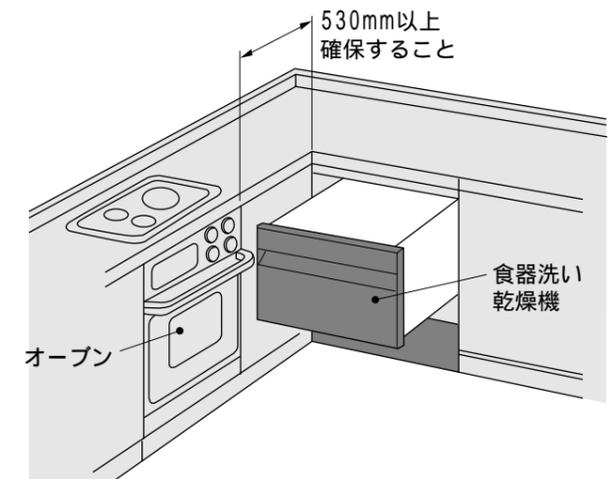
- カウンター支持金具は別売補強部材(品番N-L3)又は市販のL金具を使用します。締結ビスの長さは、右図の①寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。



- ビルトイン型加熱機器等と並べて設置しますと、カウンター上に荷重をかけた時、たわむことがありますので、補強処置を施してください。(別売補強部材(品番N-L3)又は市販のL金具を使用します。)

お願い

- L型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオープン等の取っ手に当たり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。本機の金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。



電気工事について

工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。

- 電源回路は100V、15A以上の専用回路が必要です。

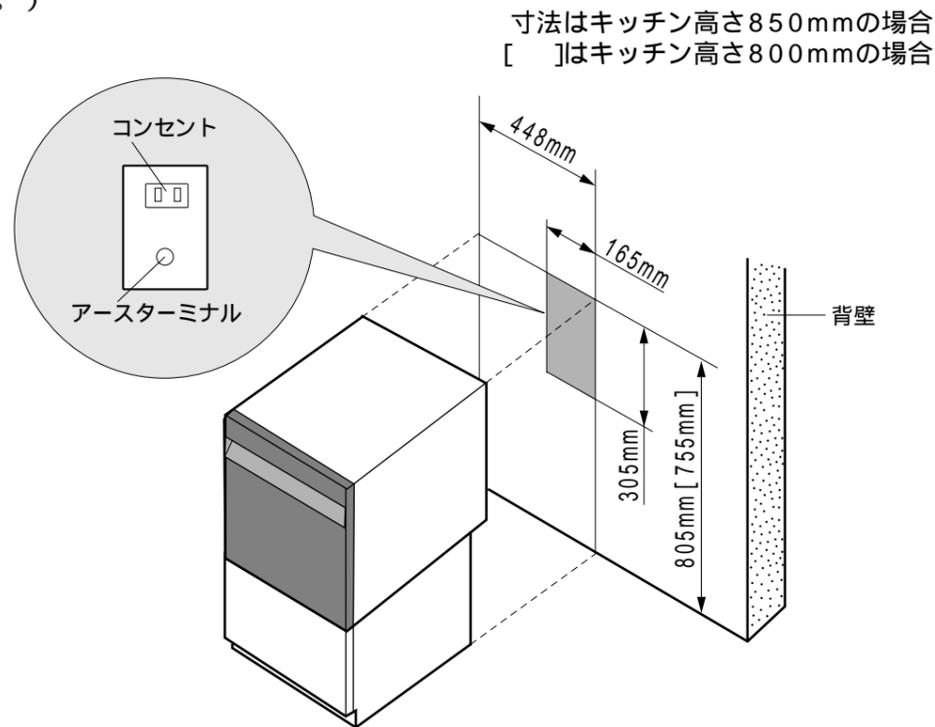
警告

定格15A・交流100Vのコンセントを
単独で使ってください。



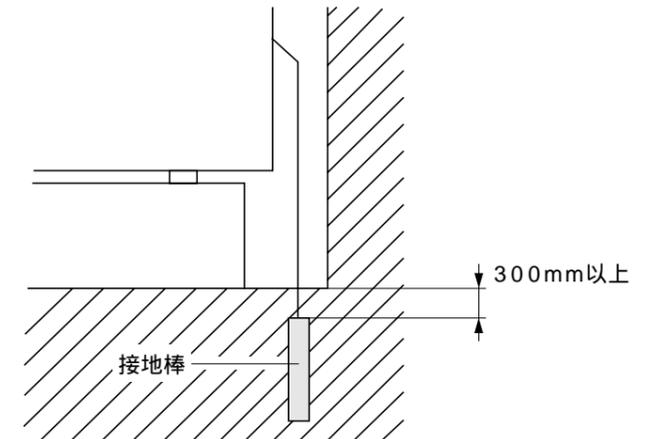
他の機器と併用すると、発熱による
火災の原因になります。

- 本体を設置する場所の背壁に、給・排水工事部分を避けた図の位置に埋込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線します。
- コンセントは定格表示125V、15Aのアースターミナル付埋込みコンセントを使用してください。（コンセントは壁面に必ず固定します。）
- アース工事を必ず行ってください。（アースは法令上必要です。）



接地棒でアースする場合

- 接地棒を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。（電気工事士の有資格者がD種〔第3種〕接地工事をするよう法令で定められています。）
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令等で禁止されています。）
- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。



地面（できるだけ湿った場所を選ぶ）

漏電しゃ断器の設置について

万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しゃ断器の設置が必要です。

推奨漏電しゃ断器——住宅分電盤用小形漏電ブレーカー

品番（松下電工）BJS 203

定格電流20A、感度電流30mA

（AC100-200V両用）

既設分電盤の分岐安全ブレーカーHB型と同一サイズですから、そのまま取り替えでき、専用回路の漏電保護ができます。

尚、主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。

給・排水工事

本機が使用できる水道水圧は0.03～1MPa { 0.3～10kgf/cm² } の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので0.6MPa { 6kgf/cm² } を超える場合は減圧弁を取り付けてください。

本機は(財)電気安全環境研究所(JET)より「給水装置の構造及び材質の基準(厚生省令)」に適合するとの証明を受けています。このため、給水装置への接合に際し逆止弁等の設置は必要ありません。

各市町村の条例等により逆止弁を取り付ける場合で、本機の配管の近傍にシングルレバー水栓がある場合は、以下の対応を実施してください。

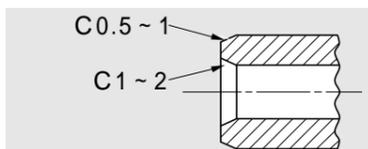
- 本機もしくはシングルレバー水栓の配管に減圧弁か、ウォーターハンマー防止器を取り付ける。
(水栓の急閉時のウォーターハンマー現象により逆止弁の下流側の本機や本機の配管に異常な高水圧が
かかり、本機の故障や水もれの原因となるためです。)

本機は配管直結タイプですので設計及び施工工事の段階で給・排水の位置決めを正確にしてください。

- 給湯(給水)管は硬質塩化ビニルライニング鋼管(相当品)を使用して、断熱材を巻いてください。
(給湯の場合は必ず耐熱配管にします。)
- 排水横枝管に至るまでの接続部分は耐熱塩化ビニル管(HT相当品)を使用してください。
なお、排水横枝管との接続はHT25で接続してください。
- 配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
- 給・排水配管の端面はバリのないよう処理し、かつ管内に残っている異物(切り粉など)を完全に
取り除いてください。

- アングル型止水栓(ハンドル式、固定ゴマタイプ)を必ず取り付け
てください。
(止水栓は閉じた状態で、出口は床面と平行に)

- 排水管HT20の端面内周に、面取り(C1～2)を施してください。
外径外面側は面取り(C0.5～1)をつけるとホースの挿入が容易
になります。



給湯機について

- 給湯は中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯機、10号以上の先止め式給湯機等で70℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。
電気温水器には別売のミキシングバルブ AD-M2140、AD-M2140N(寒冷地用)〔松下部材センター扱い〕の接続をおすすめします。
- 小型深夜電力利用温水器には接続しないでください。
本機へ給水されない恐れがあります。

注意

元止め式湯沸器には接続しないでください。

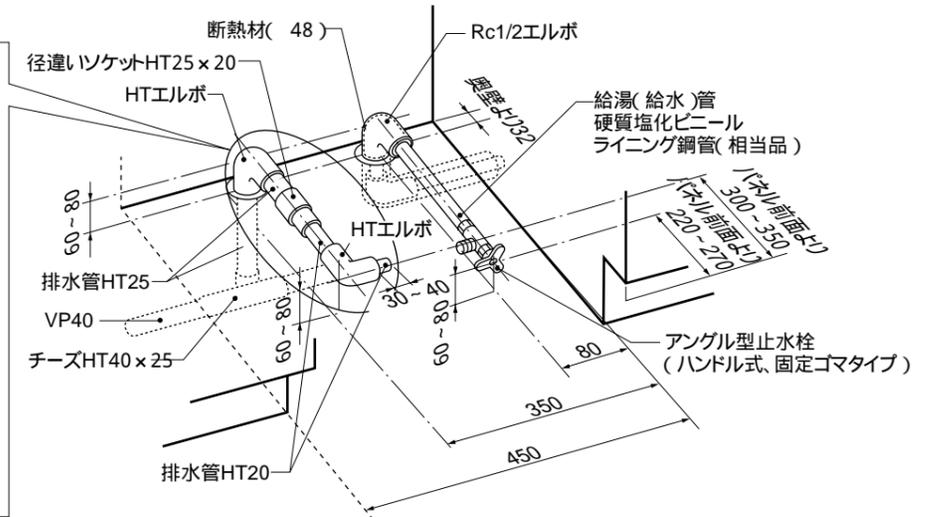
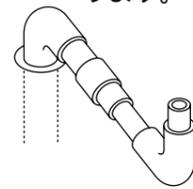
- 湯沸器からの水もれの恐れがあります。

配管例

印寸法は必ずお守り下さい。排水ホースが折れ排水不良の原因となります。
下記配管例以外の施工をする場合は事業部にご相談ください。(単位:mm)

床立上げの場合

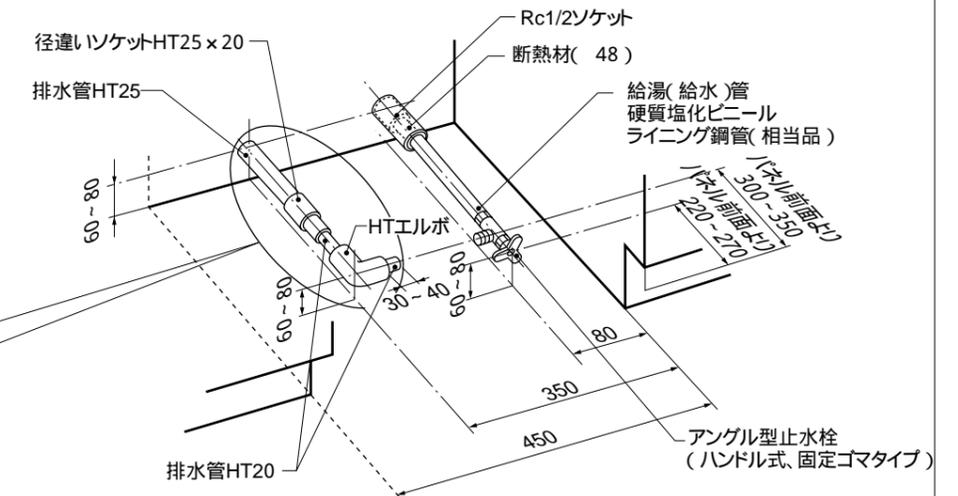
- 排水管先端のエルボを上向きにしないでください。
排水ホース折れの原因になります。



印は重要寸法です

壁出しの場合

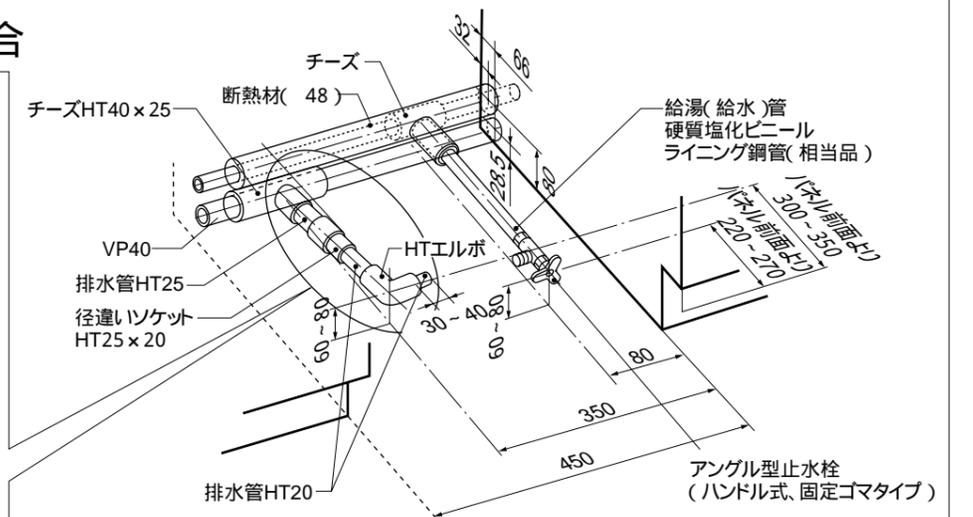
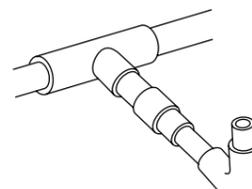
- 排水管先端のエルボを上向きにしないでください。
排水ホース折れの原因になります。



印は重要寸法です

床ころがしの場合

- 排水管先端のエルボを上向きにしないでください。
排水ホース折れの原因になります。



印は重要寸法です

設置工事前の作業

本機の設置予定場所に事前に設置されている収納キャビネットの構成部材の一部を取り外してください。

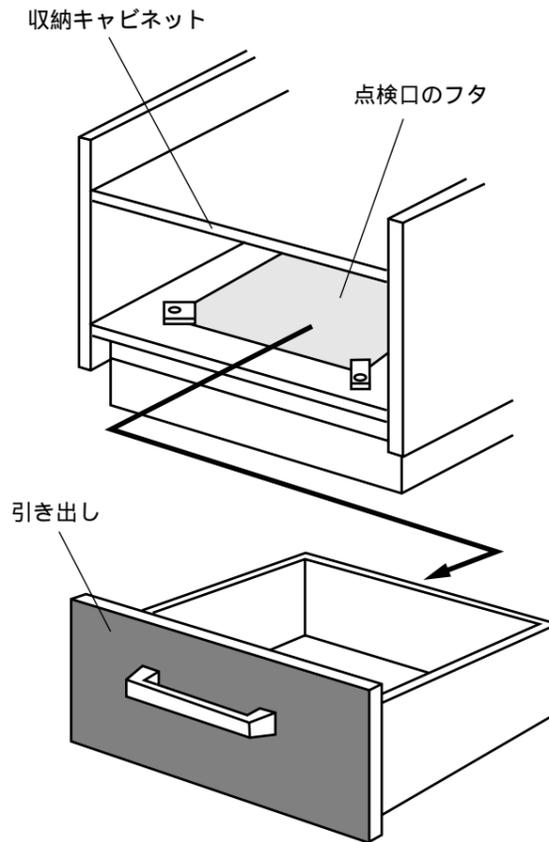
1 引き出しを取り外します。

- 引き出しを外すだけで内部に事前の配管が見える場合は、他に取り外す部材はありません。

2 引き出しを抜いた内部の底面に点検口のフタがあるものは、これを取り外します。 (点検口の中に事前の配管が見えます。)

- 1、2で取り外した引き出しおよび点検口のフタは「試運転」終了まで取り外した状態にしておきます。

収納キャビネットの構成が上記と異なる場合は、事前の配管が見えるようになるまで部材を外してください。



設置工事手順

1 転倒防止金具の取り付け

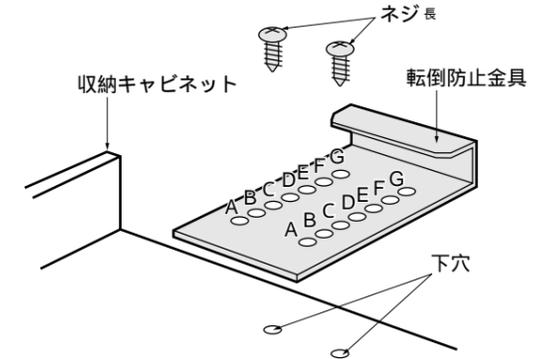
- 転倒防止金具（同梱）を同梱の型紙を使い、この型紙に記載されている説明に従って2本のネジ長（同梱）で収納キャビネットに取り付けてください。この時、電動ドライバーは使わないで手締めしてください。（ネジ山がつぶれて締まらなくなる恐れがあります。）

⚠ 注意

必ず転倒防止金具を取り付けてください。

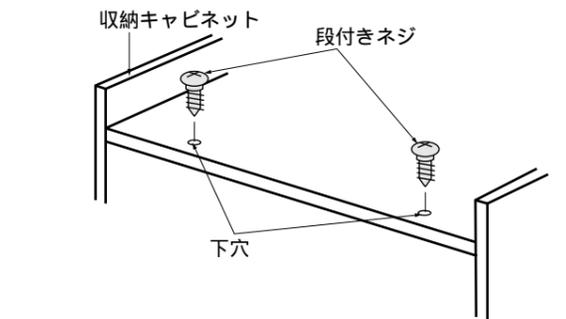


開いたドアを押さえたときに製品が転倒する恐れがあります。



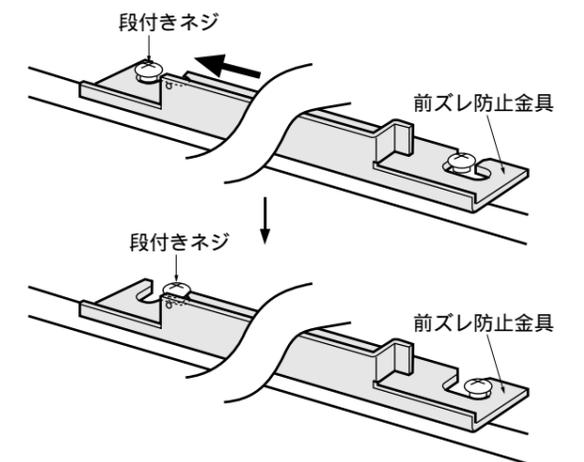
2 段付きネジの取り付け

- 1 2本の前ズレ防止金具取り付け用の段付きネジ（同梱）を下穴に締め込みます。この時、電動ドライバーは使わないで手締めしてください。（ネジ山がつぶれて締まらなくなる恐れがあります。）



- 2 同梱の前ズレ防止金具を図のように段付きネジに通し、左へずらすことができるかを確認します。

左へずらすことができない時は、段付きネジを少しゆるめて浮かし、左へずらすことができるようにします。



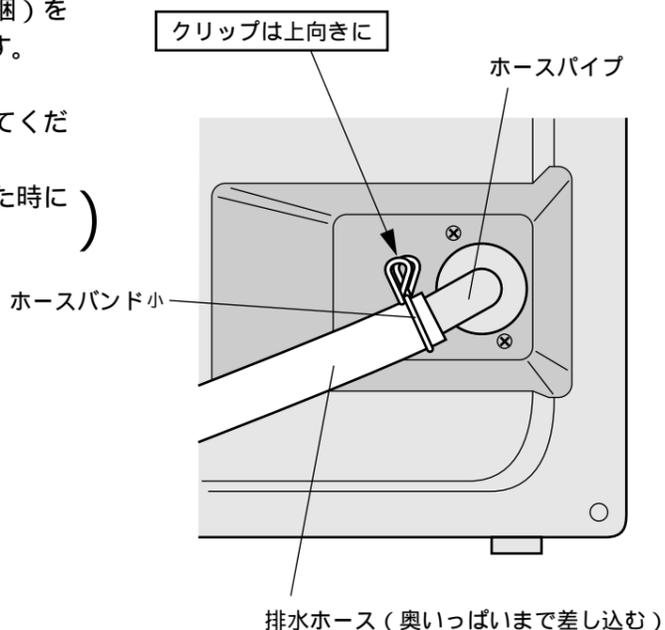
- 3 前ズレ防止金具を外します。（本体のビルトイン後に取り付けます。）

3 排水ホースの本体への取り付け

本体背面のホースパイプに排水ホース（同梱）を挿入し、ホースバンド小（同梱）で止めます。

この時、クリップが上向きになるようにしてください。

（クリップを後向きにすると、ビルトインした時にクリップが奥壁にあたる恐れがあります。）

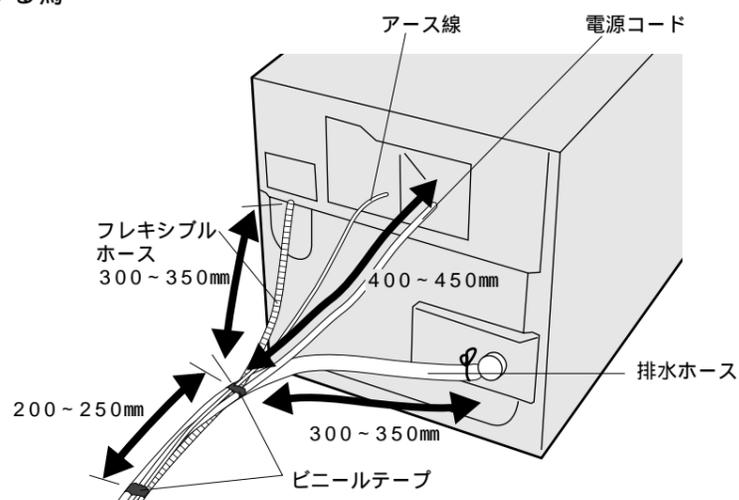


4 ホース、コード類の束ね

本体背面のフレキシブルホース、排水ホース、電源コード、アース線を図のようにビニールテープ等で束ねてください。（2カ所）

本体をビルトインする時に、作業がし易くなり、また、電源コードや排水ホースが、転倒防止金具にかみ込まないようにする為です。必ず行ってください。

下図寸法を必ずお守りください
排水ホースが折れ、排水不良の原因となります。



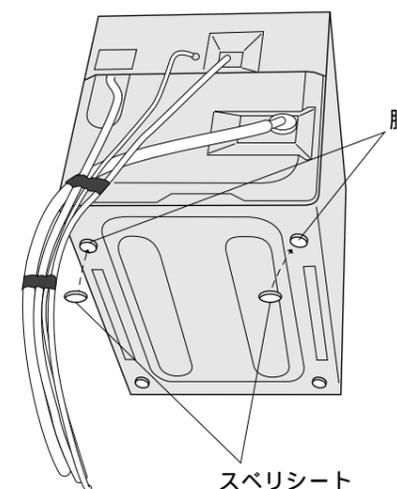
5 スベリシートの貼り付け

2002年9月生産分より廃止しております。

●本体のビルトイン作業を行い易くするために、同梱のスベリシートを本体の後方側の2本の脚にしっかり貼り付けてください。

1 脚の下面のゴミ等をふき取ります。
（汚れがあると接着力が弱くなります。）

2 スベリシート（同梱）の台紙をはがし、脚の下面にしっかり貼り付けます。



6 スペーサーの貼り付け

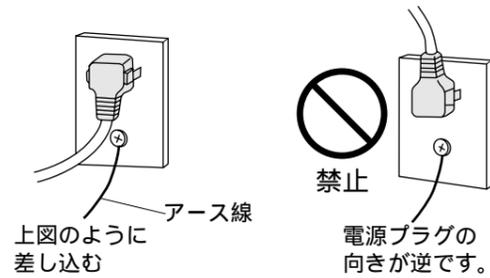
●ビルトイン後、本体が横方向に移動しないようにするため、同梱のスペーサーを本体の左右側面にしっかり貼り付けてください。

●設置されている収納キャビネットの側板の高さにより、使用するスペーサーおよびその貼り付け位置が異なります。下表に従ってスペーサーを選び、正しい位置に貼り付けてください。

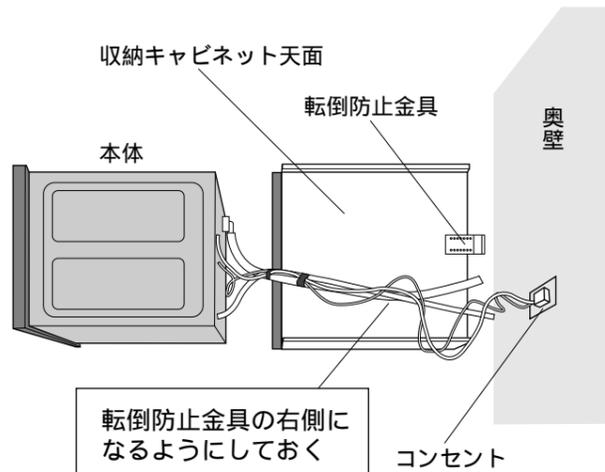
収納キャビネットの形状	使用するスペーサー	貼り付け位置
側板が低い 	21mm 	
側板が高い 	5mm 	

7 電源コード・アース線の接続

- 1 電圧が100Vであることを確認してから埋込みコンセントに電源プラグを差し込みます。



- 2 アース線をアースターミナルに接続します。
ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線
には、絶対に接続しないでください。
(法令等で禁止されています。)



警告

電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込んでください。

上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する恐れがあります。

警告

アースを確実に取り付けてください。

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

アース線接続

- アース工事は必ず販売店に依頼してください。

束ねたホース、コード類を転倒防止金具の左側にしないでください。

傷んで水もれ・感電・ショート発火の原因になります。

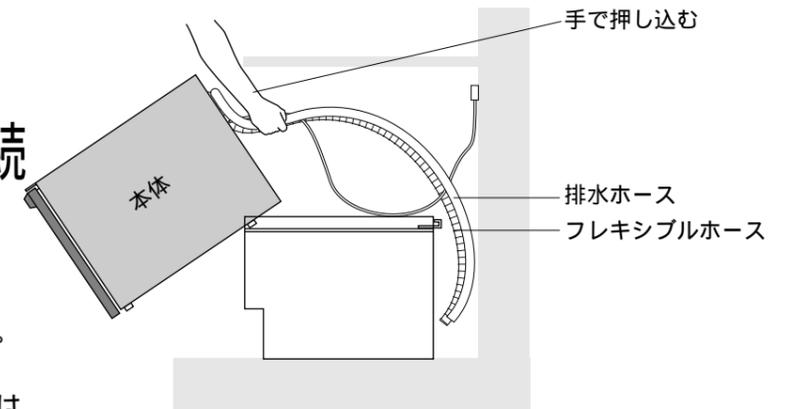
禁止

警告

電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしないでください。	コンセントを床面にこころがして、電源プラグを差し込み使用しないでください。
感電・漏電や火災の原因となります。	感電・漏電や火災の原因となります。

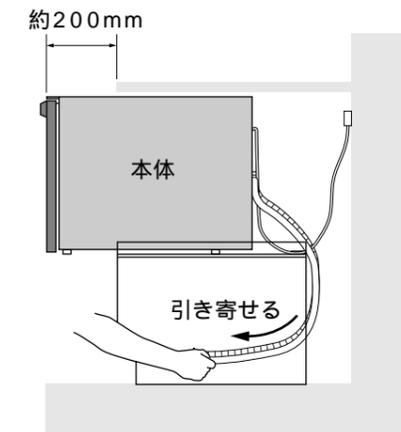
8 本体のビルトインとホースジョイントの接続

- 1 本体の後脚を収納キャビネットに乗せ、前に傾けた状態で、フレキシブルホースと排水ホースを転倒防止金具の右側から下に押し込む。



本体の下面を手でささえ、ドアは持たないようにしてください。

- 2 本体を収納キャビネットの上をすべらしながら押し込み、約200mm押し込みを残した位置で置き台キャビネットの下からフレキシブルホースと排水ホースを引き寄せる。

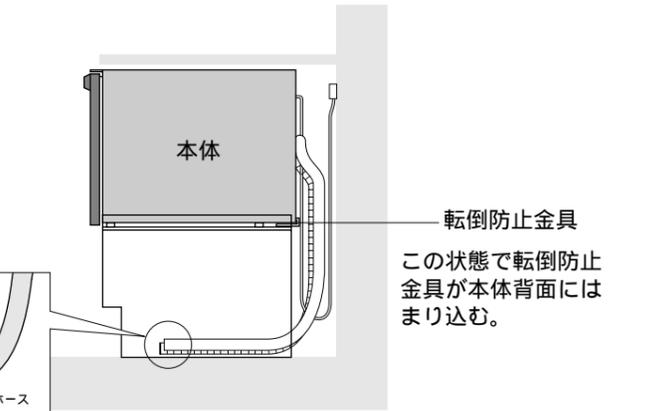


本体を収納キャビネットに一気に押し込まないでください。

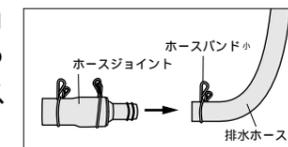
排水ホースが折れ曲がり排水不良の原因になります。

禁止

- 3 本体前面左右のフランジ部（樹脂製）が収納キャビネットの側板の前面木口に当たるまで、本体を押し込む。
隣接する機器等に注意し、本体中央をゆっくり押しビルトインしてください。



- 4 排水ホースにホースジョイント（同梱）を奥いっぱいまで挿入し、ホースバンド小で止めます。



警告

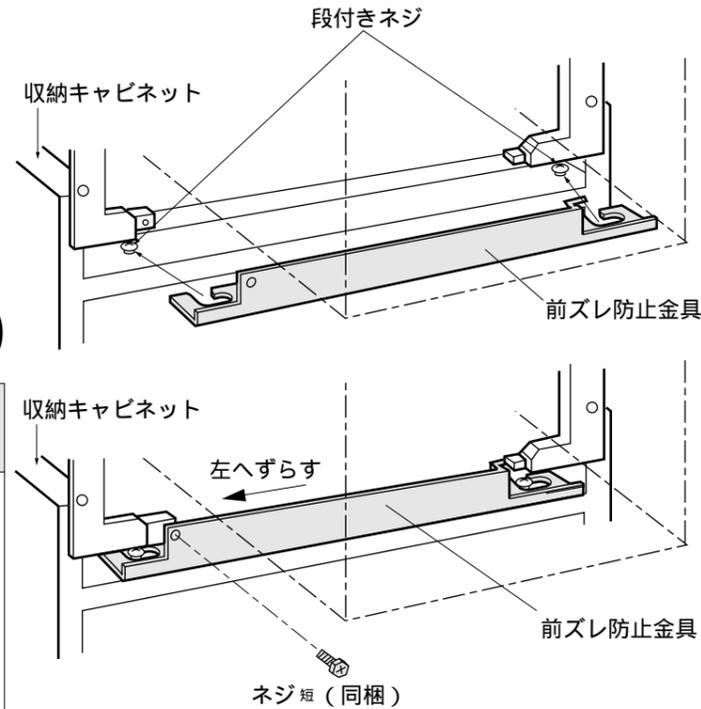
ビルトインのとき電源コード、アース線、排水ホース、フレキシブルホースに傷をつけないでください。	電源コードを転倒防止金具や本体の底面や脚との間に挟み込まないでください。
感電・漏電・火災や水もれの原因となります。	感電・漏電や火災の原因となります。

本体の金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。

9 前ズレ防止金具の取り付け

1 ドアを少し引き出し、同梱の前ズレ防止金具を11ページの2項で収納キャビネットに固定した段付きネジ(2本)にはめ込み、左側にずらしします。

2 前ズレ防止金具の前面の左端の穴に同梱のネジ短を締め込みます。(左側へずらした前ズレ防止金具が右側へもどらないようにするためです。)



⚠ 注意

必ず前ズレ防止金具を取り付けてください。

⚠ ドアの開閉などにより製品が前へ動き、収納キャビネットより落下する恐れがあります。

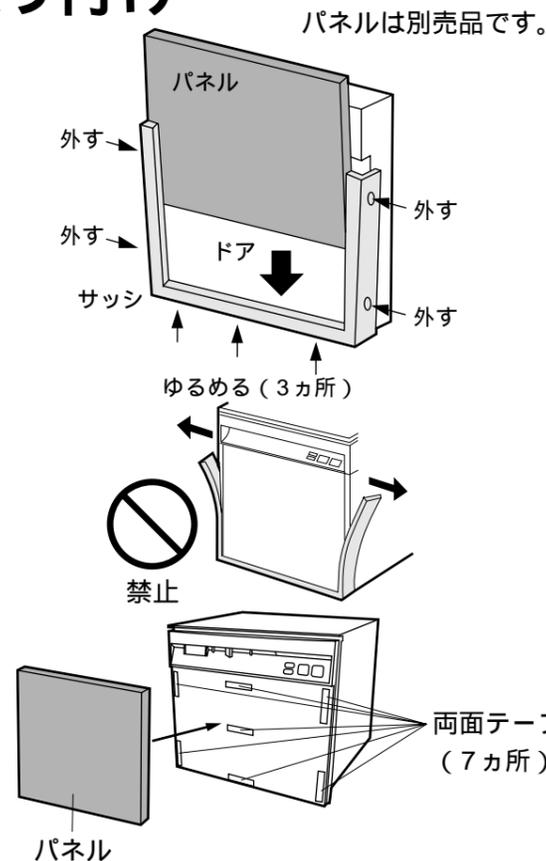
10 パネル(化粧板)の取り付け

1 ドアを少し引き出し、サッシの左右の4カ所のネジを外し、下辺の3カ所のネジをゆるめて、サッシを手前に引き外方向へ少し広がる状態にします。

2 別売パネルをサッシとドアの間に挿入し、サッシの下方を持ち上げて、別売パネルをドア上部の溝部にはさみ、左右4カ所のネジを仮止めします。

3 パネルを押さえつけながら下辺の3カ所のネジを締め付け、次に左右の4カ所のネジを締め付けます。パネルの厚みによってはパネルが浮くことがありますので、両面テープで(現場調達品)ドアに仮付けしてください。

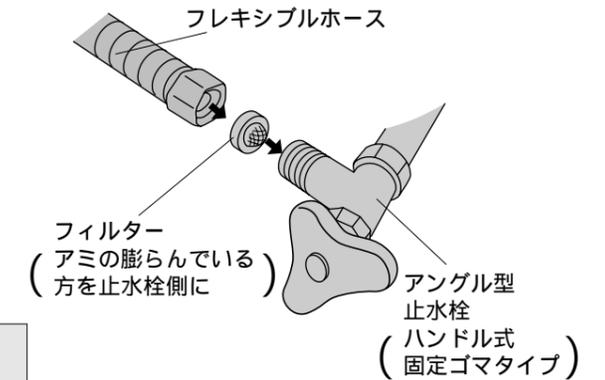
●サッシ上部を無理に広げないでください。サッシが破損する恐れがあります。



11 給湯(給水)管との接続

アングル型止水栓(ハンドル式、固定ゴマタイプ)にフィルターを入れフレキシブルホースを確実に接続します。(フィルターはフレキシブルホースにテープ止めされています。)

ナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転くらい締め付けてください。適正締め付けトルクは5~10N・m{50~100kgf・cm}です。



⚠ 注意

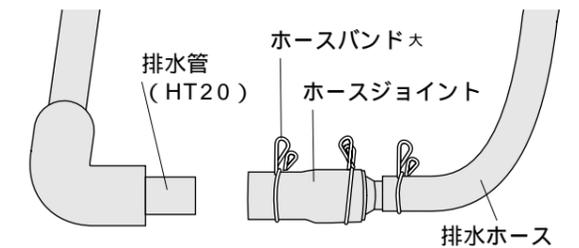
フレキシブルホースは切断しないでください。

⚠ 水もれの原因となります。

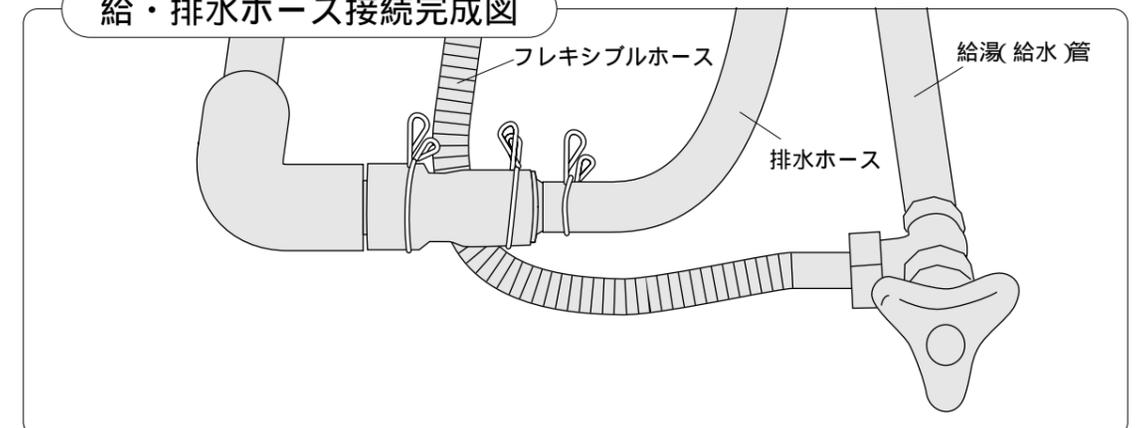
12 排水ホースの接続

排水管(HT20)にホースジョイントを接続し、ホースバンド*で止めます。この時、排水ホースは給湯(給水管)や、フレキシブルホースの上を通るようにしてください。

排水ホースに折れや、ねじれがないことを確認してください。

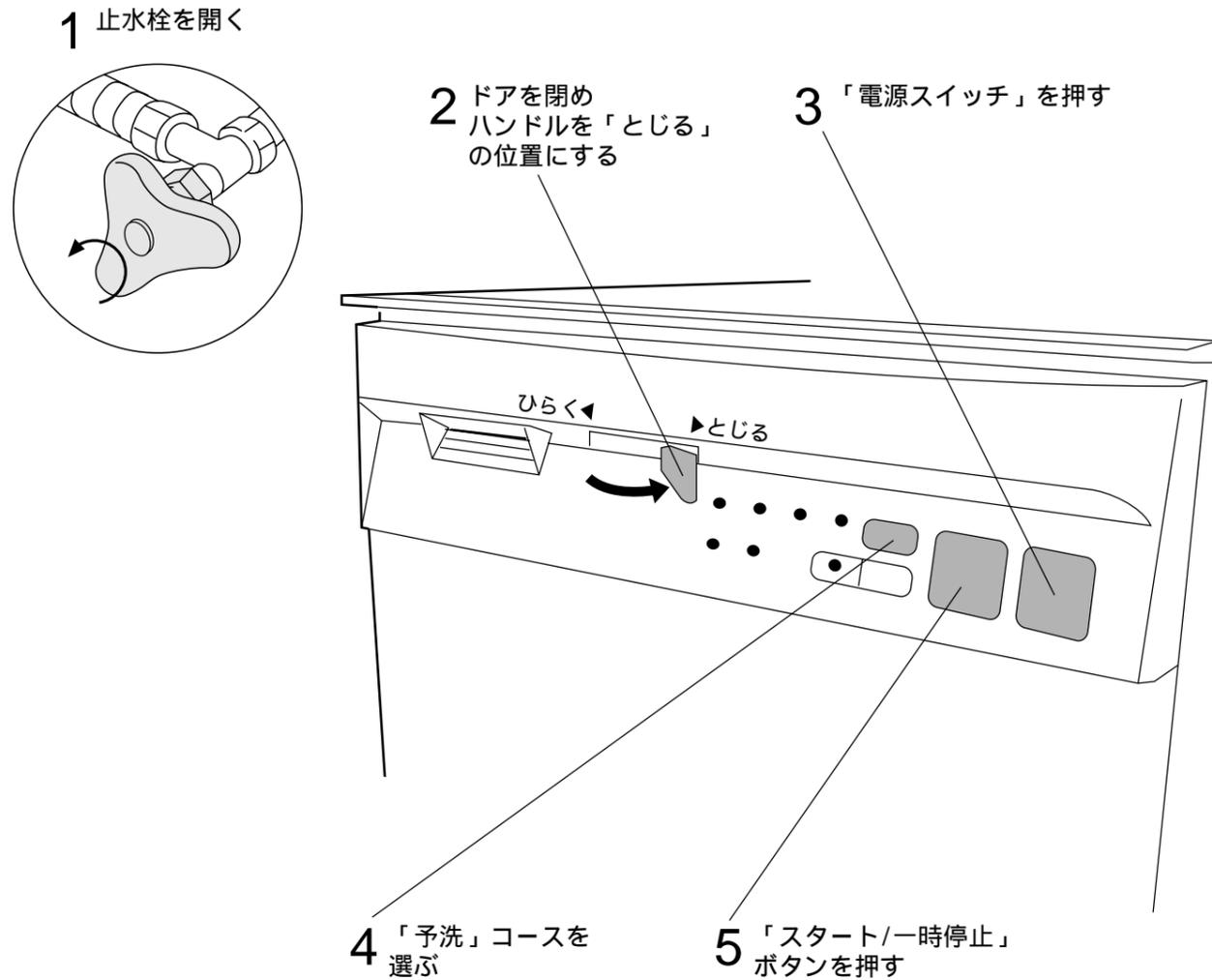


給・排水ホース接続完成図



試運転

- あらかじめ電源が入ること、給湯(給水)の開栓を確認してください。
- 次の順序で試運転を行ってください。約8分で終了します。
本機への通電、通水が不可状態で試運転が行えない時は、後に通電、通水が可能になった時に必ず試運転を行ってください。

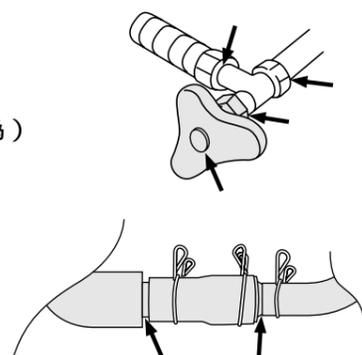


確認項目

- 噴射音：バシャバシャ音がするか確認する。
(一定量の水が入り、シャワーを噴射しながら庫内のノズルが回転する為)
- 運転中、給・排水の接続部や止水栓、その他からの水もれがないことを十分確認してください。
- 運転が終了しますとブザーが鳴り「電源スイッチ」が「切」になります。
- ドアを開け、庫内の水が排水されていることを確認してください。

試運転後は、止水栓を開いたままにしておいてください。

水もれ確認



異常報知について

- 試運転で以下のように表示部が点滅してブザーが鳴る場合は以下の内容を確認してください。

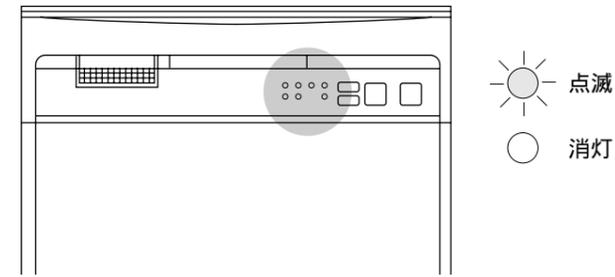


	表 示	原 因	処 置
NP-P45XTS1 NP-P45XTP1 の場合	 予洗 (4時間後) さっと 標準 念入り 予洗 乾燥のみ ドライキープ 80	排水不良 排水ホースの折れやつまりによって、洗浄槽内の水が排水できないため。	●電源スイッチを「切」にする。 ●排水ホースに折れぐせがついていないか確認する。 (折れぐせがついている場合は直す)
NP-P45X1P1 の場合	 予洗 さっと 標準 念入り 乾燥のみ ドライキープ 80		
NP-P45XTS1 NP-P45XTP1 の場合	 予洗 (4時間後) さっと 標準 念入り 予洗 乾燥のみ ドライキープ 80	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため。	●電源スイッチを「切」にする。 ●断水の場合は断水の回復を待って運転する。 ●水道栓(元栓および収納キャビネット内の止水栓)は必ず開栓する。
NP-P45X1P1 の場合	 予洗 さっと 標準 念入り 乾燥のみ ドライキープ 80		

上記の処置後、再度運転を行ってください。

試運転後の作業

10ページ「設置工事前の作業」で外した収納キャビネットの引き出しおよび点検口のフタ等を元の状態になるよう取り付けてください。

工事後の点検(チェックリスト)

点 検	点 検 内 容	参照ページ	チェック
機器 その 周辺 及び	ド ア の 開 閉	他の機器への障害はありませんか。	5ページ
	転倒防止金具 前ズレ防止金具	転倒防止金具及び前ズレ防止金具は取り付けましたか。	11ページ 16ページ
給湯 (給水) 排水 接続	給湯機との接続の場合	指定する給湯機に接続されていますか。	8ページ
	フ ィ ル タ ー	フレキシブルホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。	17ページ
	排 水 ホ ー ス	排水管との接続部と確実に接続したことを確認しましたか。 また押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。	12ページ 17ページ
電 気 接 続	電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V 15Aのアースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか。	6ページ 14ページ	
	アース線を接続しましたか。	14ページ	
試 運 転	試運転を行い、正常に動作しましたか。	18ページ	

仕様

給湯・給水接続方式	給・排水管直結タイプ
電 源	交流100V 50/60Hz共用
消 費 電 力	洗浄モーター ●洗浄時：50Hz.....100W 60Hz.....120W ●排水時：50Hz.....110W 60Hz.....130W ヒーター 800W 最大消費電力：50Hz.....900W 60Hz.....920W
1サイクル標準消費電力量	約0.9kWh
外 形 寸 法	(幅)448mm x (奥行)631mm x (高さ)450mm
製 品 質 量	約21kg
水 道 水 圧	0.03 ~ 1MPa{ 0.3 ~ 10kgf/cm ² }
洗 浄 方 式	回転ノズル噴射式
すすぎ方式(標準コース)	ためすすぎ(4回) 給排水すすぎ(4回)
乾 燥 方 式	ヒーターとファンによる強制排気乾燥 ①加熱すすぎ後ヒーター加熱乾燥 ②ヒーター加熱乾燥のみ
洗 浄 温 度	洗浄約60、加熱すすぎ約70
標 準 収 納 容 量	35点

お客様への取り扱い説明

取扱説明書によって製品の取り扱いを説明してください。
保証書に必要な事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

松下電器産業株式会社 ホームユーティリティ事業部

〒561-0823 大阪府豊中市神州町1番2号

電話 大阪06 6331-0051(大代表)

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd (松下電器産業株式会社)